

事務事業名		消防大会・消防操法大会出場事業		所属部	総務部	所属課	危機管理室			
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	危機管理G	課長名	安部 昭彦			
	施策名	(17)消防・防災対策の推進		担当者名	勝平 誠	電話番号	0854-40-1027			
	目的:対象	市民	意図	生命・財産を火災・災害から守る。						
	基本事業名	(051)防火施設と消防体制の充実		予算科目	会計	款	大事業	大事業名		
目的:対象	市民	意図	火災等に対応できるように施設・体制を整備する。				中事業	中事業名		
				0	1	4	5	0	3	非常備消防事業
				0	5	1	0	0	2	消防大会・消防操法大会

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
雲南市消防団が、島根県消防大会、島根県消防操法大会及び雲南地区消防団操法大会に出場する際の準備、各種手続及び経費負担を行う。	

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動) 益田市で開催。ポンプ車の部で吉田方面隊、小型ポンプの部で加茂及び掛合方面隊が出場。	28年度計画(28年度に計画する主な活動) 出雲市斐川町で開催。ポンプ車の部で加茂方面隊、小型ポンプの部で大東及び三刀屋方面隊が出場する予定。				
	成績	吉田方面隊 3位 加茂方面隊 3位 掛合方面隊 14位				
② 活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	延べ訓練回数	回	182	208	190	204
イ						
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	雲南市消防団員	ア	消防団員数	人	1,306	1,285	1,253	1,235
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)		
消防技術の向上を図る。	ア	出場分団数	分団	3	3	3	3	
	イ							
	ウ							

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)		② コストの推移		単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
操法手当	2,400千円	事業費	国庫支出金	千円				
出動手当・日当旅費	1,150千円		県支出金	千円				
消耗品費	1,082千円		地方債	千円				
賃借料	375千円		その他	千円				
燃料費・食糧費ほか	161千円		一般財源	千円	5,530	3,872	5,168	4,915
			事業費計(A)	千円	5,530	3,872	5,168	4,915
		人件費	正規職員従事人数	人	3	2	2	
			延べ業務時間	時間	394	293	313	
			人件費計(B)	千円	1,534	1,139	1,225	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	7,064	5,011	6,393	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
少子高齢、過疎化、社会環境の変化により、消防団員が少なくなり、また、団員の平均年齢が上がったことにより、操法大会の選手選考が難しくなっている。	団員の負担軽減の為、平成26年度より出場隊を見直し、東部開催時の小型ポンプ出場分団を1分団減らした。東部・西部開催を問わず、ポンプ車の部に1台、小型ポンプの部に2台出場する。	操法の取り組みは実火災の技術習得に繋がるため必要であるという声が多い。

事務事業名	消防大会・消防操法大会出場事業	所属部	総務部	所属課	危機管理室
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	操法大会の出場隊数が島根県消防協会の取り決めにより東部・西部開催に関係なく3隊となった。また、団員の負担を考慮すれば現状を維持することが適切と考える。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	団員の協調性や意識高揚の機会が減ることになり、ひいては組織の統率力や消防技能の低下につながりかねない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	このほかに類似の大会はない。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		平成25年度から出場隊数が東部開催、西部開催関係なく3隊となった。成果を下げずに事業費を削減するためには消防団の理解が必要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		市が設置している消防団の事務である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		参加チームには消防団との申し合わせにより支出しており、出場順番は消防団に承認されているものである。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		消防操法大会へ出場するために負担がかかる意見があるが、操法を通じて技術を習得してもらうことにより、消防体制の強化及び士気の高揚につながる。基本動作を身に着けるためにも現状を維持する。		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
<p>県操法大会の出場隊数は、東部地区開催4隊、石見地区開催3隊であったが、平成26年度から、東部西部に関係なく3隊となった。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		